

報道関係者各位

令和8年4月8日
ながはま冒険遊び場
代表 福原 雄太

10年の歩みを経て、地域で支える 「次世代の社会的インフラ」へ

滋賀県長浜市で10年にわたり子どもたちの自由な遊び場を提供してきた『ながはま冒険遊び場』は、2026年3月の委託期間満了を機に、地域主体の運営を目指す任意団体として自立。4月18日より持続可能な『地域共創型モデル』への挑戦を開始いたします。

■ 背景と経緯：10年のバトンをつなぐ

「ながはま冒険遊び場」は、2015年に有志の保護者による活動として始まりました。長浜市社会福祉協議会や地域おこし協力隊との共催・主催事業として10年間継続し、延べ3,000人を超える親子に親しまれてきました。2026年春、私たちは「地域が自ら、子どもたちの育ちの場を守る」という決意のもと、任意団体「ながはま冒険遊び場」を設立しました。

■ 本活動の3つの特徴

1. 「遊び」の保障と社会的インフラ

経済状況に関わらず、誰もが等しく来られる「無料の遊び場」を維持します。これは子どもの健やかな成長に不可欠な「遊びの権利」を守る、地域のセーフティネットです。

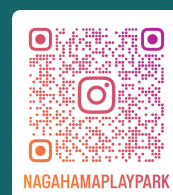
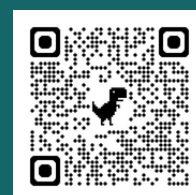
2. 多世代が混ざり合う「斜めの関係」

子どもたちと参加する保護者だけでなく、親でも先生でもない「近所のお姉さん・おじさん」のような、多様な大人が一緒になって見守る温かなコミュニティを再構築します。

3. 持続可能な運営モデルの模索

運営費の試算と収支計画をもとに、オンライン寄付（Stripe）の活用や企業協賛、Amazonほしいもののリストによる物資支援など、地域全体で少しずつ支え合う「分散型」運営を目指します。

お問い合わせ：ながはま冒険遊び場 代表 福原 雄太
090-2380-7388 (平日9~17時対応)
nagahama.playpark@gmail.com
HP: QRコードより



【イベント概要】

「自分の責任で自由に遊ぶ」遊び場です。

火おこしや木登りなど、じぶんだけの「やってみたい！」を楽しみませんか？親子での参加もボランティアも大歓迎です！

【開催日】

2026年 4月18日（土） 5月16日（土） 6月20日（土）

【開催時間】 10:00 ～ 15:00（雨天時の対応は公式サイト・SNSにて告知）

【会場】 ふくらの森（長浜市内保町地先：道の駅 浅井三姉妹の郷 裏）

【対象】 0歳から100歳まで（どなたでも大歓迎）

【持ち物】 汚れてもいい服、着替え、お弁当、遊びたい道具

【参加費】 無料 【申し込み】 不要（直接現地にお越しください）



持ってきたマシュマロを焼く様子



森で拾って作った秘密基地で遊ぶ様子

【募集：未来を共に創るサポーター・ボランティア】

独立に伴い、私たちは「共に場を創る仲間」を募集しています。

- 見守りボランティア：子どもの「やりたい」を一緒に面白がり、見守ってくれる大人。
- 個人サポーター：月額1,000円～の寄付で運営を支える「後見人」。
- 企業パートナー：子育て環境を共に豊かにする協賛企業（年3～5万円）。

【記者の皆様へ：この記事を通じて伝えてほしいこと】

- 「前向きな自立」の物語：委託事業の終了を「ピンチ」ではなく、地域が主体となって場を取り戻す「自律への好機」と捉えている前向きな姿勢をぜひ報じてください。
- 「遊びの知恵」を社会へ還元：今後は長浜の枠を超え、企業研修へのノウハウ提供や、滋賀県内他地域への「出張開催」など、遊び場の価値を広域に届ける展開も検討しています。
- 「斜めの関係」の重要性：単なるイベント紹介に留まらず、親でも先生でもない「ただの大人」と子どもが接する時間が、今の社会にいかに必要かという視点に光を当てていただけますと幸いです。